

屋内50m水泳場を川口市神根運動場に、スポーツ科学拠点施設を上尾運動公園にそれぞれ整備した場合の利点や課題を整理

利 点

- 各地元市の提案を活用し、それぞれの地域の特性をより発揮できる整備が可能。

川口の特性を生かした水泳場整備

- 水泳界をリードしてきた歴史と実績があり、水泳文化が根付く地域性を生かした街づくり
- 人口の多い県南地域への整備による利用者の確保

上尾の特性を生かしたスポーツ科学拠点施設整備

- 多様なスポーツ施設の集積により、多くの競技で活用可能
- 公式試合が開催可能なスポーツ施設での実践的な測定やトレーニング

- 県南地域と県央地域での整備を同時に進めることで、県土の均衡ある発展が期待。
- 各地元市との連携協力により、本県スポーツ振興のすそ野の広がりがより一層創出。

課 題

- 一体的整備を前提とした機能の連携や施設の共同利用が必要。
- 両施設が別々の場所にあることによる県民の利便性の低下に留意。
- 整備費や運営費の縮減が必要。